

募 集 要 項

●募集期間

2013年11月1日から2014年1月31日（必着）

●候補の対象

候補の対象とするのは2013年中（2013年1月1日から12月31日）に完成した技術成果のうち、以下に該当するものです。

- ①産業の発展に貢献度の高い大型産業設備、構造物の開発
- ②独創的、画期的で産業・社会に変革をもたらしたシステム技術の開発
- ③地球環境保全に大きな効果を発揮した設備の開発

ここでいう技術成果とは、実際に工業化または活用されて成果をあげたもの、あるいは効果が実証されたものを指します。単なる理論の解明にとどまるものは賞の対象とはいたしません。また、わが国の企業・グループが開発・完成させたものであれば、海外において成果をあげたものでも賞の対象とします。

●応募方法

申請書に記入の上、応募技術に関連する産業団体、学会、協会などの推薦を受けてご応募下さい。

●審 査

関係省庁、学識経験者で構成された審査委員会で審査します。

審査委員会にかける前に、審査委員会の下部組織である幹事会で下審査および調査を行います。

●審査委員

総合科学技術会議議員 原山優子氏／科学技術振興機構理事長 中村道治氏／産業技術総合研究所副理事長 一村信吾氏／新エネルギー・産業技術総合開発機構副理事長 倉田健児氏／理化学研究所理事 米倉実氏／東京理科大学学長 藤嶋昭氏／東京工業大学学長 三島良直氏／内閣府政策統括官 倉持隆雄氏／文部科学審議官 藤木完治氏／経済産業省産業技術環境局長 片瀬裕文氏／日刊工業新聞社社長 井水治博

●表 彰

「内閣総理大臣賞」と「文部科学大臣賞」の2賞を贈ります。また、「審査委員会特別賞」を贈ることもあります。

●発表・贈賞式

選定結果は2014年3月下旬の日刊工業新聞紙上で発表いたします。

贈賞式は4月上旬予定です。